



山形県感染症発生動向調査

平成30年第21週(5月21日～5月27日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年5月30日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第20週	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1957 0.40	25 0.52	16 0.33	▼	14 0.70	14 0.70					6 0.60		▼	5 0.38	2 0.15	▼	16162
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	951 0.30	8 0.27	8 0.27		4 0.31	5 0.38	△				3 0.50	2 0.33	▼	1 0.13	1 0.13		296
咽頭結膜熱	2011 0.64	30 1.00	43 1.43	△	8 0.62	11 0.85	△	5 1.67	4 1.33	▽	14 ◎2.33	25 ◎4.17	△	3 0.38	3 0.38		355
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9888 3.13	130 4.33	138 4.60	▲	76 5.85	59 4.54	▽	2 0.67	7 2.33	△	37 6.17	48 ◎8.00	▲	15 1.88	24 3.00	▲	2467
感染性胃腸炎	23306 7.38	336 11.20	347 11.57	▲	133 10.23	135 10.38	▲	24 8.00	14 4.67	▼	59 9.83	120 ◎20.00	▲	120 15.00	78 9.75	▽	3521
水痘	1105 0.35	4 0.13	36 1.20	△	3 0.23	26 2.00	△		1 0.33	△	1 0.17	7 1.17	△		2 0.25	△	271
手足口病	2405 0.76	9 0.30	14 0.47	▲	7 0.54	14 1.08	▲				2 0.33		▽				273
伝染性紅斑	809 0.26	22 0.73	14 0.47	▽							22 ◎3.67	13 ◎2.17	▽		1 0.13	△	130
突発性発しん	1818 0.58	14 0.47	17 0.57	△	3 0.23	8 0.62	▲	3 1.00		▽	4 0.67	5 0.83	△	4 0.50	4 0.50		302
ヘルパンギーナ	255 0.08	4 0.13	24 0.80	△	2 0.15	8 0.62	△				2 0.33	16 2.67	▲				64
流行性耳下腺炎	565 0.18	4 0.13	6 0.20	▲	2 0.15	1 0.08	▼	1 0.33	1 0.33			2 0.33	△	1 0.13	2 0.25	▲	62
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	21 0.03																
流行性角結膜炎	766 1.10	1 0.13	4 0.50	△	1 0.25	3 0.75	△					1 1.00	△				33
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	134 0.28	1 0.10		▼	1 0.25		▽										19
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	84 0.18	2 0.20	3 0.30	▲	2 0.50	2 0.50			1 1.00	△							56
細菌性髄膜炎	5 0.01																4
無菌性髄膜炎	12 0.03																3

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		1		※内、第20週追加報告1人。
百日咳	患者	3				ワクチン接種歴:4回 3人。小児 3人。

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別、A型:12件、B型:2件、不明:2件でした。

集団発生は、村山地区 1件(幼稚園・保育所:1)でした。

※トピックスで、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		1	2	4	2	2	1					2			
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	1		1												16
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		3	3	1				1							8
咽頭結膜熱		7	13	7	7	6	2					1			43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	4	14	21	20	15	9	14	10	7	20	2	1	138
感染性胃腸炎		15	52	32	39	37	44	21	19	16	16	44		12	347
水痘		1	2	1		2	2	17	8		1	2			36
手足口病		2	4	1	3	1	1		1					1	14
伝染性紅斑			1		2	1	3	2	1	3		1			14
突発性発しん		5	11	1											17
ヘルパンギーナ		3	10	6	4	1									24
流行性耳下腺炎				2		2		2							6

< 平成30年4月 月報 >

2018年5月23日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～4月
	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 22	14	4	7	11	5	2	2	5		74
	定点当り 2.20	1.40	1.00	1.75	11.00	5.00	1.00	1.00	1.67		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 8	11	2	4	2	3	3	3	1	1	39
	定点当り 0.80	1.10	0.50	1.00	2.00	3.00	1.50	1.50	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 3	3	1	1			1		1	2	11
	定点当り 0.30	0.30	0.25	0.25			0.50		0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数 4	2	1	2					3		9
	定点当り 0.40	0.20	0.25	0.50					1.00		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 9	11			2	2	2		5	9	29
	定点当り 0.90	1.10			2.00	2.00	1.00		1.67	3.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 21	18	13	11	1	1	1		6	6	72
	定点当り 2.10	1.80	3.25	2.75	1.00	1.00	0.50		2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

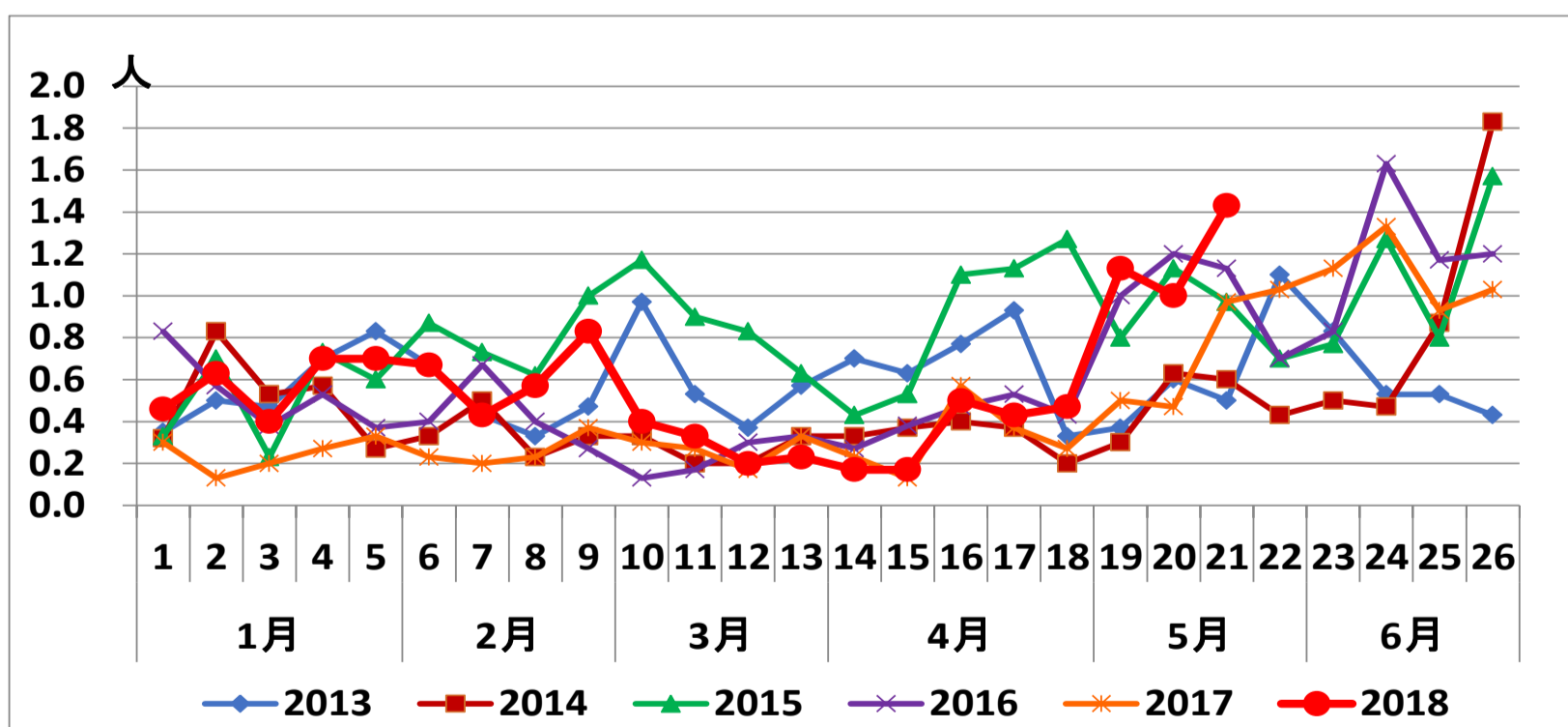
< トピックス >

【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。県平均の定点当たり報告数は、過去5年の同週に比べ、最も多くなっています。

・咽頭結膜熱
警報開始基準値:3人 警報終息基準値:1人
・第21週 定点当たり報告数 (山形県:1.43人)
村山:0.85人、最上:1.33人、置賜:4.17人、庄内:0.38人

・咽頭結膜熱 定点当たり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスに感染することによっておこる小児の急性ウイルス感染症で、主な症状は、発熱、咽頭炎、眼症状です。通常夏期に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

【症状】発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。

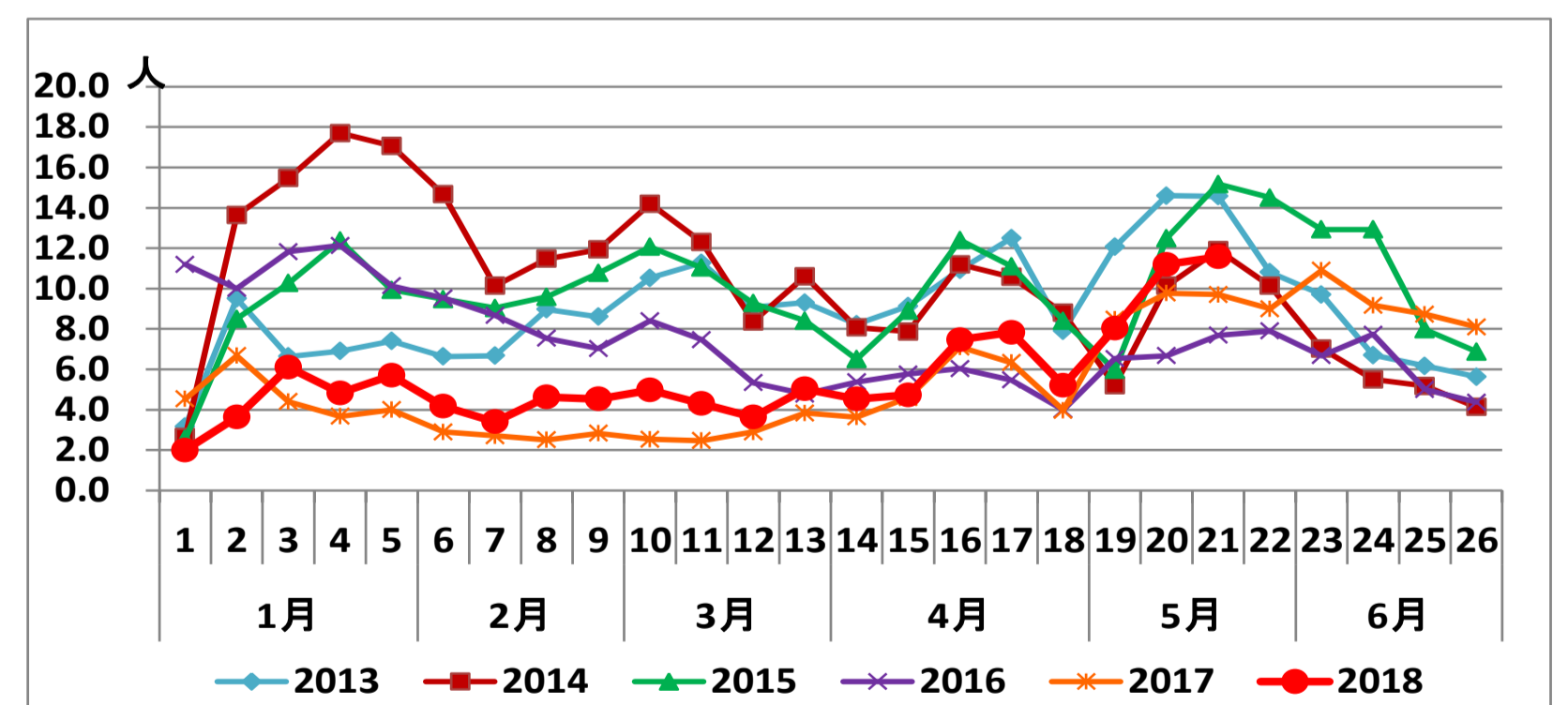
【予防法】感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。

【感染性胃腸炎情報】

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。県平均の定点当たり報告数は、3週連続で増加しており、第1週以降で最も多い報告数となっています。

・感染性胃腸炎
警報開始基準値:20人 警報終息基準値:12人
・第21週 定点当たり報告数(山形県:11.57人)
村山:10.38人、最上:4.67人、置賜:20.00人、庄内:9.75人

・感染性胃腸炎 定点当たり報告数の推移(山形県)



感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。

【症状】病原体によって異なりますが、主な症状はおう吐、下痢、発熱です。

【治療】ウイルス性のものであれば対症療法が中心となります。下痢などの症状により脱水症状を生ずることがあるので、おう吐の症状が治まったら少しずつ水分を補給し、安静につとめましょう。

【予防法】最も重要で、効果的な予防法は「石鹸・流水による手洗い」です。トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。特に、便やおう吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを装着し、処理後は石鹸と流水でよく手を洗いましょう。